

伊 議 第 235 号

2023(令和5)年8月14日

伊賀市教育委員会
教育長 谷口 修一 様

伊賀市議会議長 近森 正利

市政に関する提言書の送付について

教育民生常任委員会において「新図書館の進捗状況について」の所管事務調査が行われ、この度、市政に関する提言書が提出されました。

つきましては、当該提言書を別紙のとおり送付しますので、その内容を踏まえ、今後の事務事業に取り組まれますようお願いいたします。

記

提出書類 市政に関する提言書 1部

1. 調査の経緯

現在、P F I手法を用いた伊賀市にぎわい忍者回廊整備（忍者体験施設等整備）事業において、旧上野市庁舎に図書館が整備されるが、旧上野市庁舎を活用した当施設は、図書館だけでなく観光施設や宿泊施設を伴った複合施設となっている。

旧上野市庁舎については、平成31年3月の伊賀市指定有形文化財（建造物）指定に伴い、文化財として保存するとともに中心市街地のにぎわい施設の拠点として活用するため、令和2年1月「旧上野市庁舎保存活用計画」が作成されており、文化財としての価値を損なうことなく建物改修を行う必要がある。

このような状況の中で、当委員会では、公共図書館としての機能が十分に担保されているかどうかを主眼に、事業進捗状況等について所管事務調査を行った。

2. 調査等の概要

旧上野市庁舎の現地視察を踏まえ、教育委員会上野図書館、文化財課及び産業振興部中心市街地推進課に対し質疑を行ったが、その主なものは次のとおりである。

(1) 地下1階児童開架及びテラス

多目的トイレの規格やアプローチ方法、雨水排水処理及び防犯対策、窓際の寒さ対策、重量のある扉等の危険防止対策

(2) 貴重書庫

浸水及び温湿度対策

(3) 1階及び中2階一般開架

多目的トイレの設置、救護室や対面朗読室の適正な配置、ゆとりある空間の確保

(4) 2階学習・集会室部分

セキュリティ管理方法、宿泊施設との明確な区分

(5) 全体・その他

文化財の保存利活用方法、エレベーターの規格及び適正な設置台数
現図書館と比較しての利用者サービス向上予測

3. 新図書館に関する提言

上記の調査等を踏まえ、特に次の事項に留意され、新図書館の整備を進めていただきたく提言します。

- (1) 公共図書館として、バリアフリーだけでなく、障がいの有無、年齢、性別、国籍等にかかわらず、当事者の声を考慮した、多様な人々が利用しやすい建物環境

等のデザインとなっている。

(2) 平成 26 年 2 月に答申された「伊賀市新図書館基本計画」との整合性が図られている。

(3) 上記(1)及び(2)を含め、P F I 事業における業務要求水準を満たす状態となっている。

以上、(1)、(2)、(3)の項目について提言する。